

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 16 年 9 月 9 日 (2004.9.9)

【公開番号】特開 2001-147365 (P2001-147365A)  
 【公開日】平成 13 年 5 月 29 日 (2001.5.29)  
 【出願番号】特願 平 11-327603  
 【国際特許分類第 7 版】

G 0 2 B 7/28

G 0 3 B 13/36

【F I】

G 0 2 B 7/11 N

G 0 3 B 3/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 8 月 29 日 (2003.8.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 3】

次のステップ # 1 1 3 においては、上記ステップ # 1 1 2 にて選択された焦点検出結果により、現在の焦点状態が合焦状態か否かを判定する。合焦状態であればステップ # 1 1 4 へ進み、撮影者に合焦したことを知らせるための処理を行う。つまり、CPU 1 0 0 は LCD 駆動回路 1 0 5 に信号を送り、合焦音を鳴らすようにする。その後はステップ # 1 1 6 へ進む。また、合焦でなければステップ # 1 1 3 からステップ # 1 1 5 へ進み、現在の焦点状態が合焦状態でないために撮影レンズ 1 を駆動するための処理を行う。つまり、CPU 1 0 0 は焦点調節回路 1 1 5に信号を送り、所定量撮影レンズ 1 を駆動する。具体的には、上記ステップ # 1 1 0 で選択された A F 点の焦点検出結果に基づいた所定量だけレンズを駆動する。その後はステップ # 1 1 6 へ進む。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 6】

ステップ # 1 7 0 より動作を開始し、まずステップ # 1 7 1 において、フィルム 5 に感光させるための準備として、まず、主ミラー 2 をアップさせる。このために、CPU 1 0 0 はモータ制御回路 1 0 8 に信号を送り、モータ M 2 を正転方向に駆動し始める。その後、不図示の位相基板の位相信号 C M S P 1 , C M S P 2 をモニタし続け、位相信号がミラーアップ位置になるとモータ制御回路 1 0 8 に信号を送り、モータ M 2 の駆動を停止する。また、絞り駆動回路 1 1 1を含む絞り駆動装置 3 2 に信号を送り、絞り 3 1 を所定量だけ絞り込ませる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 8】

ステップ# 173においては、フィルム5の露光が終わると、主ミラー2のダウンおよびシャッターチャージを行う。このために、CPU100はモータ制御回路108に信号を送り、モータM2を正転方向に駆動し始める。その後、不図示の位相基板の位相信号CMS P1, CMS P2をモニタし続け、位相信号がミラーダウン位置になるとモータ制御回路108に信号を送り、モータM2の駆動を停止する。また、絞り駆動回路111を含む絞り駆動装置32に信号を送り、絞り31を開放状態に戻す。次のステップ# 174においては、フィルム5の巻き上げを行うために、モータ制御回路108に信号を送り、モータM1を正転方向に駆動を開始する。また、フィルム検出回路109に信号を送り、フォトセンサ110からの信号で、フィルム給送中のフィルム位置が検出可能な状態にする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 5】

